

平成28年度わがまち元気プロジェクト第2弾決定！

みなべ町『オリンピック新種目スポーツライミングでスポーツのまちづくり』プロジェクト

地域固有の資源を活用し、個性豊かで活力ある地域づくりを推進する「わがまち元気プロジェクト」について、新たに下記プロジェクトへの支援を決定しました。

プロジェクト名	みなべ町『オリンピック新種目スポーツライミングでスポーツのまちづくり』プロジェクト
事業実施主体	みなべ町、みなべ町教育委員会、みなべ観光協会、みなべ町スポーツライミング事業実行委員会(みなべ町、みなべ町体育協会、県山岳連盟、地域愛好者)、清川を考える会
全体事業費	20,283千円(うちわがまち元気プロジェクト支援事業5,000千円)

※わがまち元気プロジェクトとは…

地域活性化を図るため、地域固有の資源を活用した新たな産業づくりや、スポーツを核とした町づくりに取り組む市町村を、プロジェクト計画に基づいて、県が総合的に支援する事業。平成21年度から取組を開始。

【参考】 わがまち元気プロジェクト 取組一覧

年度	プロジェクト数
21	6
22	3
23	1
24	1
25	1
26	3
27	2
28	2
合計	19

◎今回の1件を入れると合計は19件になります。

担当	企画部 地域政策課 地域支援班 竹内・藤木 TEL：073-441-2371
----	---

みなべ町『オリンピック新種目スポーツクライミングでスポーツのまちづくり』プロジェクト

1 事業主体 みなべ町、みなべ町教育委員会、みなべ観光協会
みなべ町スポーツクライミング事業実行委員会（みなべ町、
みなべ町体育協会、県山岳連盟、地域愛好者）、清川を考える会

2 全体事業費 20,283千円（うち元氣プロ5,000千円）

3 目的

2020年東京オリンピックの新種目にスポーツクライミングが採用されたことを機に、2015年本県で開催された国民体育大会の同種目の競技会場となったみなべ町の施設を活用し、町のスポーツと位置づけ、町、県内外への普及促進するとともに、日体大との協定等を併せて活用するスポーツによる「まちづくり」で活性化をはかる。



4 取組内容

(1) ボルダリングの県内外への普及 【8,503千円】(うち元氣プロ 1,916千円)

～和歌山県のスポーツクライミングの拠点に～

①ボルダリングの町内外への普及

- ・国体選手等によるボルダリング教室の開催（競技普及・指導者育成）
- ・初心者から経験者まで幅広く対象とした「梅の里カップ・ボルダリング大会」の開催・継続
- ・施設を利用したクライミング体験や若者の交流イベント等の開催

②ボルダリングの活用による交流促進

- ・ボルダリングの国体県予選や、近畿ブロック大会などの各種競技会の誘致
- ・全国各地の選手、経験者、クラブ・サークル等競技者への施設利用の訴求
- ・ボルダリングを活用した観光体験メニューの作成及び町内外への訴求

(2) スポーツを通じた交流促進 【6,354千円】(うち元氣プロ 2,866千円)

①スポーツを通じた交流促進、合宿誘致

- ・町内で開催する各スポーツ大会やイベントでの地元住民によるふるまい等で交流促進
- ・各大学、学校などとみなべ町との交流促進、合宿誘致

②日体大との交流連携

- ・日体大アスリート講師によるスポーツ教室の開催
- ・日体大でのジュニア合宿の実施

(3) 梅等特産品を通じてスポーツをサポート 【5,426千円】(うち元氣プロ 218千円)

①梅の食育推進等でスポーツをサポート

- ・町内で開催するスポーツの大会やイベントでの梅を主体とした特産品の提供
- ・大学等のスポーツ選手への梅のスポーツ向け加工食品の提供
- ・マラソン大会等都市部でのスポーツイベント参加者への梅製品の提供

②日体大との食育連携

- ・日体大での梅食育推進イベントの開催（将来のスポーツ指導者への梅活用の訴求）
- ・日体大とタイアップし、梅のスポーツ向け新製品開発のため、各種スポーツに適した梅製品のニーズを調査

※平成27年10月、みなべ町と日本体育大学が「スポーツ・健康に関する協定」を締結

5 目標

	平成26年度		平成31年度
ボルダリングのイベント等による誘客数	— 人	→	2,500人
スポーツ交流による交流人口	16,000人	→	30,000人
スポーツ目的町内宿泊者数	2万人	→	2万5千人
合宿団体（学校）数	45団体(校)	→	55団体(校)